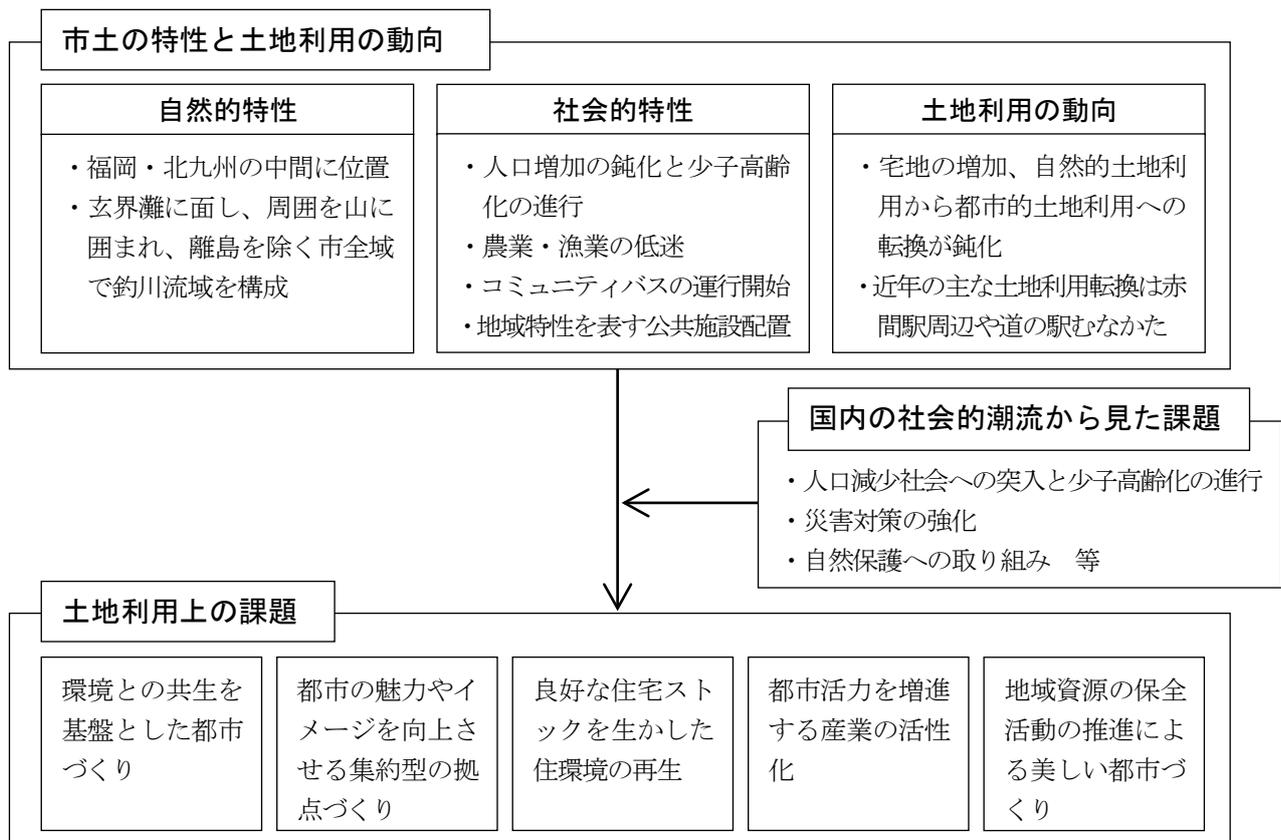


■宗像市国土利用計画の改訂方針について（案）

1. 土地利用に係る現況・課題



2. 第2次宗像市国土利用計画への改訂方針

(1) 「自然と都市の共生」を基本理念として踏襲する

本市を形づくる自然環境、長い時間をかけて培ってきた歴史・文化の保全を土地利用の基本とし、本計画においても自然と都市の共生を基本理念として踏襲する。

(2) 集約型の都市構造の形成と個性ある地域づくりを併せた整備を進める

人口減少社会への突入を踏まえ、アクセスしやすく、安全で利便性と回遊性の高い拠点づくりがこれまで以上に求められる。また、拠点づくりと連携して、農漁業や観光などの産業振興にも寄与する個性的な地域づくりを行い、より効果的な土地利用を図ることを本計画において共有する。

(3) 魅力的な住宅都市の再構築を目指す

本市では、緑豊かで質の高い住宅地が形成されてきたが、近年は空き地・空き家が増加しつつある。そこで、老朽化が進んでいる住宅団地の更新時期を好機と捉え、安心して住み続けられる住環境への再生を図り、魅力的な住宅都市の再構築を目指すことを本計画において共有する。

(4) 協働で土地を維持管理し、活用していく視点を加える

高齢化が進む中で、安全・安心なまちをつくり、地域の魅力を高めていくためには、新たな土地利用への対応に加え、今ある土地を適切に管理・活用し、質の向上を図ることが重要となる。そのため、市民・事業者・行政が一体となって土地の維持管理・活用を図っていく視点を本計画に位置づける。